

ふれあい情報

2018年11月6日(火) 第290号

■発行 日本退職者連合
■発行人 菅井義夫
■連絡先 〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

<税制改正等に関する要望>

1. 個人所得税について
 - (1) 総合課税の導入を。
 - (2) 所得控除から税額控除に。
 - (3) 年金課税は一貫性ある税制に。
2. 法人税について
 - (1) 法人税は企業が社会的責任を果たす税率とすること。
 - (2) 東日本大震災での復興特別法人税の復元。
3. 消費税について
 - (1) 社会保障制度の安定財源として、消費税率を改定すること。
 - (2) 軽減税率導入案を撤回し「給付付き税額控除」の導入を。
4. 復興特別税について(略)
5. 新税について(略)
6. タックス・ヘイブンについて

内実を明らかにするとともに、課税逃れを許さないルール作りを進めること。

以上

* 詳しくは退職者連合 HP ご覧ください。

社会保障制度維持のために安定財源の確保を

調査会(会長・泉健太衆議院議員)は、党政務ヒアリングには、党政務調査会(会長・泉健太衆議院議員)に向けて税制改正が行なわれ、3人が参加しました。冒頭、党側を代表して岡本

退職者連合への聞き取りは、6日午前8時から参議院議員会館の地下1階「B105会議室」で約15分間行なわれ、人見一夫会長、野田那智子副事務局長、林道寛副事務局長の3人が参加しました。冒頭、党側を代表して岡本

2019年度(平成31年度)税制改正に向けて、国民民主党が11月6日に実施した「税制改正要望に関するヒアリング」で、退職者連合は六項目の税制改正要求の実現を強く求めました。

所得再配分機能の強化など6項目の実現求める

国民民主党・平成31年度税制改正要望に関するヒアリング

院議員)第三部会(部会長・岡本充功衆議院議員、対応委員会は厚労・文科・消費者)の関係議員10人が出席。同部会副部長の伊藤孝恵参議院議員の司会で始まりました。

退職者連合の人見会長は「第22回定期総会で決定した2018年度政策・制度要求の中の税制改正に関する部分を本日も持ち出した。ぜひ、要求の実現に向けてよろしくお願

いしたい」と述べました。続いて政策担当の野田



▲退職者連合へのヒアリングの冒頭、あいさつする第三部会長の岡本充功衆議院議員。右隣は部会長代理の川合孝典参議院議員。左は副部会長の伊藤孝恵参議院議員。右側は退職者連合の人見会長と野田副事務局長(右から2人目)。左側は出席した第三部会関係議員。(11月6日、参議院議員会館B105号室)

那智子副事務局長が六項目の要求を説明(別掲)。特に消費税率の改定については、「政争の具にしてはならない」と強く主張し、「社会保障制度の維持のためにぜひ改定を」と求めました。意見交換では、総合課税のあり方や所得控除と税額控除の関係、消費税と軽減税率などについて出席議員から質問があり、野田副事務局長が退職者連合の考え方について説明しました。

地域に広がる“生きがいつくり、健康寿命づくり、仲間づくり”

多くの地方退職者連合では、会員のみなさんの親睦・交流として地域での「生きがいつくり、健康寿命づくり、仲間づくり」の“3つのお達者づくり”に取り組んでいます。

北海道退職者連合、近畿ブロック、三重退職者連合の活動を紹介します。退職者連合のホームページにもご紹介しています。

退職者連合近畿ブロック協議会

第22回「秋のハイキング」1,306人参加

退職者連合近畿ブロック協議会では、持ち回りで毎年実施している秋のイベントとして、10月16日(火)「あをによし 奈良の国宝をめぐるハイキング」を奈良公園で開催しました。好天にも恵まれ6府県退職者連合から1306人が参加。出発式では、今年も各府県退職者連合最高齢者6人が壇上で紹介されました。今年の最高齢者は兵庫退職者連合から参加した野崎勇造さん95歳。集会終了後は、東大寺、三〇一年ぶりに再建された興福寺中金堂や若草山などのハイキングに出発する人、芝生で弁当を広げる人、ビールを片手に語り合う人など、各所で親睦交流が行われました。



▲春日山を背景にした春日野園地で出発式が開かれた。(10月16日、奈良市)



▲第26回定期総会で「元気な高齢者活動」の2グループに表彰状を手交する富山会長(左)。右手前が室退教、右奥が労金朋友会の各代表。(10月23日、札幌市)

地域で活動している退職者組織にもっと元気になってもらおうと北海道退職者連合では、親睦・交流や社会貢献活動を評価する制度をスタートさせました。活動内容のユニークさや多彩さ、充実度などを総合的に判断して、定期総会で表彰するもの。2018年度は10月23日に開催した第26回定期総会において、この一年間に地域で元気に活動した北海道労金朋友会同好会と室蘭退職教職員協議会「室蘭こどもと環境・平和を創る会」の2つの退職者の会を表彰しました。

地域での元気な活動を表彰

北海道退職者連合

人生100年時代、生き生きと暮らせる社会へ

講演と健康体操に女性50人参加

三重退職者連合



▲みんなで輪になって健康体操。会場は、大いに盛り上がった。

毎年「女性のつどい」を開いている三重退職者連合は、3月30日に「みんなで一緒に身体を動かしてみよう」をテーマに県教育会館で会員64人が参加して「講演と健康体操のつどい」を開きました。もともと「第7回女性のつどい」として、2017年11月19日に伊勢市の隣にある度会(わたらい)郡玉城町での「柿狩り」として企画され、80人余りが参加申し込みしていたもの。ところが台風21号の影響で柿畑が被害を受けて中止に。その後、女性幹事から「何もしないのは寂しい」との声があがり、企画されました。いなべ市社会福祉協議会の地域福祉課・稲葉淑乃課長(社会福祉士)を講師に招き、ユニークな話しぶりとハツラツとした健康体操の指導に会場は多いに盛り上がりました。今回も女性の参加が、50人と78.1%を占め、文字通りの「女性のつどい」となりました。